

## 日本動物看護学会 第29回例会 感想レポート

匿名希望

大学3年生の時に本学会の動物看護師認定試験を受け、その後幾度か本学会のセミナーなどに参加してきました。現在、私は夢かなって動物看護師として就職することができ、日々仕事に追われる毎日を送っています。私の勤務している病院は獣医師・看護師ともに勉強熱心で、私が学会等の勉強会に行くことを快く思ってくれています。学会等で学んできたことを病院に持ち帰り、勉強会の時間を設けてもらえています。

今回の例会では、ペットフード新法と栄養カウンセリングについて学びました。テレビで報道されていたことではありましたが、当院でペットフード安全法について詳しく知っているスタッフは残念ながらいませんでした。2007年3月末に米国で犬・猫が腎不全を起こし、死亡し、ペットフードが原因であると断定された事件が発覚したこと、日本でもペットフードに関心をもつ人が増加したことがきっかけとなって日本で初めてペットフードに関する法律ができること、その内容を院内の勉強会で発表しました。

当院では看護師も飼い主から様々なことについて相談されることもあるので、知識をつけておかなければなりません。また、病院新聞を3ヶ月ごとに発行しています。飼い主さん向けに動物の健康管理についてや、トリミングに関する記事を掲載しています。その新聞に今回学んできたペットフード安全法について掲載することとなりました。

栄養カウンセリングについては、やはり動物看護師が身につけておかなければならない知識であると思います。飼い主から「うちの子もう年をとってきたんだけど、今のままのご飯でいいのかしら?」「ダイエットさせたいんだけど、食餌療法なんてできるかしら?」などといった相談を受けることがあります。特に肥満については、慎重にお話をしなければなりません。明らかに体重が多い子でも、「体格がいいのよ」で済まされしまう場合があります。今後肥満によって起こる疾病について考えるとぜひとも減量してほしいものです。

今回のセミナーで、肥満が健康に及ぼす影響について学びました。糖尿病、心臓血管系疾患、高脂血症、関節疾患等になる危険度を高めること、呼吸器障害を起こしやすくなること、手術時の危険性が高まること等、なぜ肥満であることがいけないのか学んだので、飼い主に説明するときのポイントがつかめました。また体重不足が健康に及ぼす影響についても学んだので、肥満であっても体重不足であっても動物にとっては良くないことで、栄養のバランスをとることが大切なんだなと思いました。

どちらのセミナーも、今後の業務に生かすことができる内容でしたので、院内でしっかりとスタッフと情報交換をし、獣医師に頼りきりではなく自信を持って飼い主の相談に乗ることができる動物看護師に成長できるように今後も頑張っていきたいと思います。